



GX推進を組織横断で実践するための実務ツール

# サプライチェーン連動

# アクションチャート

**GXリーグ** **GX人材市場創造WG**

本成果物はWGリーダー・メンバー以外の企業も自由にご利用いただけますが、ご利用に当たっては以下の通り出所を明示ください  
出所)GXリーグ GX人材市場創造WG「サプライチェーン連動 アクションチャート」(2026年3月)

## 1. 背景

GX（グリーントランスフォーメーション）や脱炭素の取組は、もはや個社単独で完結するものではなく、サプライチェーン全体での連動した対応が求められている。一方で現場では、「誰が・誰に・何を求めているのかが分かりにくい」「依頼元と依頼先の役割や責任が曖昧」「方針はあるが、具体的な行動に落とし込めない」といった課題が多く見られる。その結果、GXに関する要請や取組が部分最適にとどまり、サプライチェーン全体としての実行力が十分に発揮されていないケースも少なくない。

## 2. 本ガイドの目的

本ガイドおよび「サプライチェーン連動アクションチャート」は、GX推進を実務として計画・実行・改善していくための共通の枠組みを提供することを目的としている。サプライチェーン上の立ち位置（依頼元／依頼先）を整理した上で、GX推進のプロセスをフェーズごとに分解し、それぞれの段階で求められる主な行動、関与部門、人材スキルを体系的に整理している。これにより、GXを「理念」や「要請」にとどめるのではなく、組織横断で実行可能な具体アクションとして設計・運用することを目指す。

## 3. 本ガイドの意義

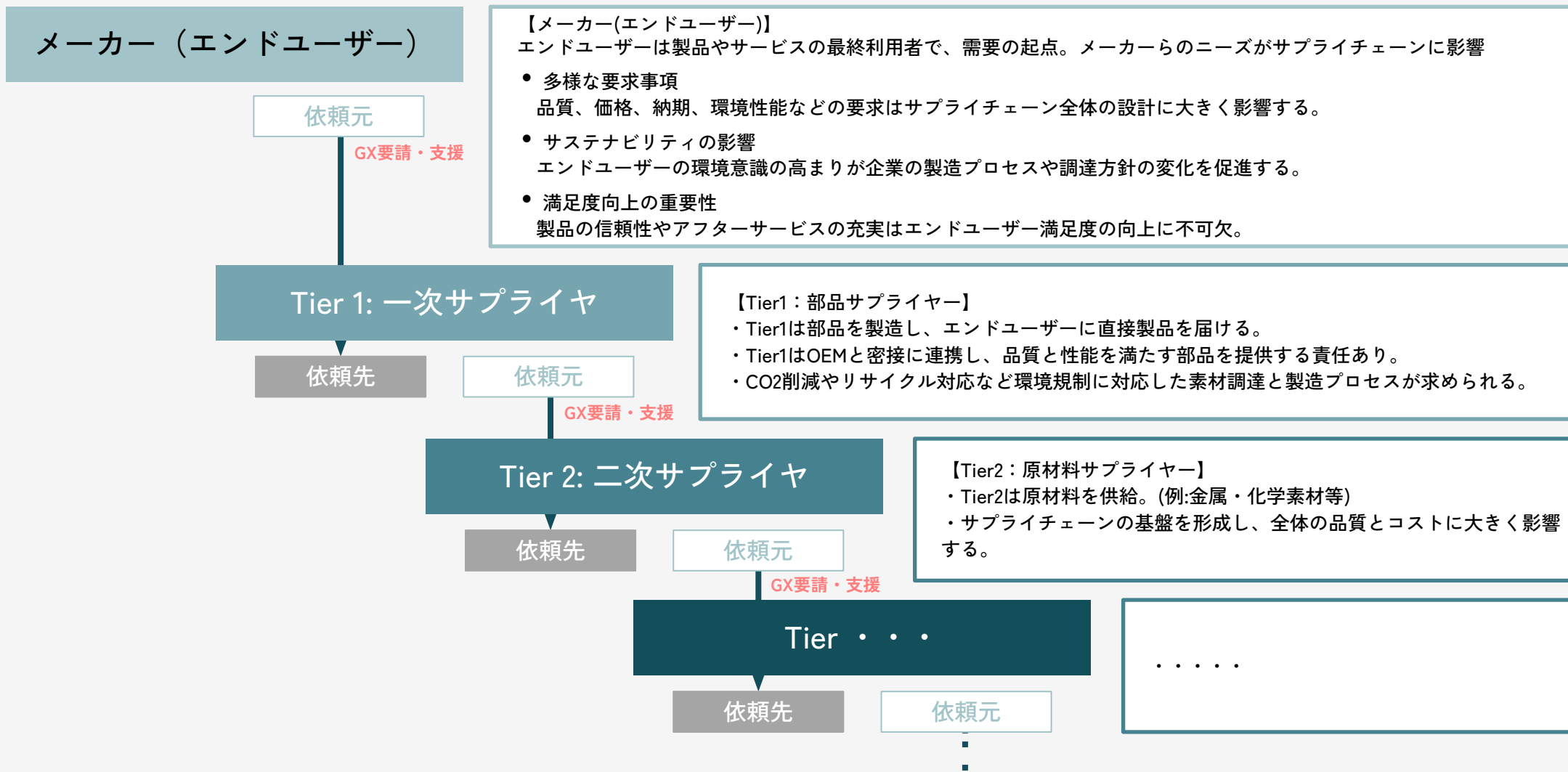
本ガイドは、単なるチェックリストや対応状況の確認ツールではない。各企業が自社の状況や業種特性に応じて内容を取捨選択・追加しながら活用できる「動的な実務ツール」として設計されている点に特徴がある。また、GXにおける「依頼する側」と「依頼される側」の双方の視点を前提とすることで、一方通行の要請ではなく、相互理解と連携に基づくサプライチェーン全体のGX推進を促す。本ガイドを活用することで、現場レベルで「次に何をすべきか」を具体的に判断できるようになり、継続的な改善と組織的な学習を通じて、GX実行力の底上げにつながることを期待している。

## 4. 本ガイドの位置づけ

以降のページでは、まずサプライチェーン全体の構造と各階層の役割を整理した上で、アクションチャートを用いた具体的な活用方法や運用ステップを示す。

本ガイドは、GX推進を組織横断で実践するための「考え方」と「行動」をつなぐ実務ガイドとして活用されたい。

サプライチェーンの階層別イメージは以下の通り。GXの要請と支援はサプライチェーンを双方向に連鎖し、各企業が「依頼する側」と「依頼される側」の両方に関わることで、全体の脱炭素化が進みます。



このアクションチャートは、単なるチェックリストではなく、GX推進の実務を計画・実行・改善するための動的なツールとして設計されています。以下の4ステップに沿って運用することで、組織横断的なGX推進が可能になります。

## Step1. 役割確認・体制構築

- 自社は依頼元/依頼先のどこに該当するかを確認する
- 「必要な人材スキル」を基に、自社の研修・人材配置を検討する  
例: GXコミュニケーター育成のために、交渉力・業界知識研修を実施

## Step2. 行動計画策定

- 「主な課題・業務」をチェックし、自社の状況に合わせて追加・修正し、全体計画を策定する  
例: 「サプライヤーの理解レベルがバラバラ」→ 業界別に事前勉強会を追加
- フェーズ別に自社の担当部署・担当者を当てはめる  
例: 「説明会準備」フェーズ → 調達部門、環境部門、プロジェクトマネージャー
- 「依頼元/依頼先」を参考に、社内外の連携体制を整理する  
例: サプライヤー説明会では、調達部門だけでなく環境部門も同席

## Step3. 実行

- フェーズごとに進捗を管理し、次のフェーズに活かす  
例: アンケート回答率が低い場合、フォロー面談フェーズを前倒し実施

## Step4. 定期見直し(PDCAサイクル)

- フェーズごとに進捗を管理し、次のフェーズに活かす
- 例: アンケート回答率が低い場合、フォロー面談フェーズを前倒し実施

# サプライチェーン連動 アクションチャート

---

アクションチャートに記載される用語の簡易定義は以下の通り。

用語	定義
フェーズ	サプライチェーン連動アクションを「目的設定」から「次アクション提示」までの10段階に分割した工程
依頼元／依頼先	業務連携における「依頼する側」と「依頼を受ける側」。社内部門間の連携も含む
人材類型（GXSS）	GX推進における役割・職種の分類（例：GXストラテジスト、GXプロジェクトマネジャー）
関連スキル	GXSS-P定義に基づく実務に必要な専門知識・能力（例：GHG算定、ステークホルダーエンゲージメント）
GXSS-P標準	GX推進に必要な人材類型とスキルを定義した業界標準枠組み（GXリーグ策定）
GX（グリーントランスフォーメーション）	脱炭素・サステナビリティ推進のための企業変革
サプライチェーン	原材料調達から製品出荷までの一連の供給網
サプライヤー	製品やサービスを供給する企業や組織
ステークホルダー	事業や活動に利害関係を持つ関係者全般
GHG（温室効果ガス）プロトコル	企業のGHG排出量算定の国際基準
KPI（重要業績評価指標）	目標達成度を測るための指標
Scope1/2/3	企業活動におけるGHG排出の範囲（自社/電力/サプライチェーン全体）
GXストラテジスト	GX戦略の立案・推進を担う人材
GXコミュニケーター	社内外の関係者とGX推進のための調整・情報発信を担う人材
GXアナリスト	GHG排出量や気候関連リスク・機会等の状況のデータ分析・可視化やアンケート集計を担う人材
GXプロジェクトマネージャー	GX推進プロジェクトを計画・管理し、目標達成に向けて関係者を調整する人材
FAQ	よくある質問とその回答集

何を、いつやるかを構造化

GX推進プロセスを「目的設定」から「次アクション提示」まで10段階に分割しています。

No.	フェーズ名	主な課題・業務	業務・課題解決例		人材類型 (GXSS)・必要な人材スキル 関連スキル (GXスキル標準, GXSS-P定義を参照)
0	目的・方針設定・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体目標の明確化</li> <li>KPI設定</li> <li>評価・報告サイクル(半年・1年ごと等)</li> <li>GHG報告用ITシステムの整備</li> </ul>	KPI設定例: <ul style="list-style-type: none"> <li>GX説明会参加率</li> <li>アンケート回答率</li> <li>改善提案件数</li> <li>改善実施率</li> </ul>	依頼元	【GX人材種別】 GXストラテジスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門 【主なスキル】 戦略思考、サプライチェーン知識、
				依頼先	【GX人材種別】 GXコミュニケーター、GXストラテジスト 【所属部門】 — 【主なスキル】 交渉力、業界知識(調達・品質)、サ
1	説明会準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤー間のGX理解レベルの不一致</li> <li>説明資料の整合性確保(フォーマット・算出方法統一)</li> <li>社内外ステークホルダー調整</li> <li>バイヤーのGX理解レベル確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前簡易アンケート</li> <li>業界別GX事例の事前共有</li> </ul>	依頼元	【GX人材種別】 GXプロジェクトマネジャー、GXストラテジスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門 【主なスキル】 プロジェクトマネジメント、資料作成
				依頼先	【GX人材種別】 — 【所属部門】 — 【主なスキル】 —
2	サプライヤー説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加率向上(インセンティブ・技術サポートの事前連絡)</li> <li>サプライヤー経営層のコミットメント確保</li> <li>質疑応答の正確性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画配信・資料共有(未参加企業への配慮)</li> </ul>	依頼元	【GX人材種別】 GXコミュニケーター、GXストラテジスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、調達部門 【主なスキル】 プレゼンテーション、交渉力、業界知識、戦略思考、ファシリテーション
				依頼先	【GX人材種別】 — 【所属部門】 サステナビリティ担当部門、調達部門 【主なスキル】 GHGプロトコル・法規制の把握、業
3	アンケート配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答率の確保(段階的实施等)</li> <li>設問の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リマインド時期・フォロー責任者の設定</li> </ul>	依頼元	【GX人材種別】 GXアナリスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門 【主なスキル】 データ設計力、分析思考、ITリテラ
				依頼先	【GX人材種別】 GXアナリスト 【所属部門】 営業・サステナビリティ・調達・総務 【主なスキル】 データ設計力、分析思考、ITリテラ

**フェーズ (Phase)**

「目的設定」から「次アクション提示」まで、サプライチェーン連動アクションを10段階に分割した工程。

**主な課題・業務 (Key Tasks/Issues)**

各フェーズで発生する具体的な課題や、取り組むべき業務内容。

誰が、なにするかを明確化

各業務を誰が担当し、どのような連携が必要かを名確認します。

No.	フェーズ名	主な課題・業務	業務・課題解決例		人材類型 (GXSS)・必要な人材スキル 関連スキル (GXスキル標準,GXSS-P定義を参照)
0	目的・方針設定・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体目標の明確化</li> <li>KPI設定</li> <li>評価・報告サイクル</li> <li>GHG報告用IT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>KPI設定例</li> </ul>	<p><b>依頼元／依頼先 (Requester/Requestee)</b></p> <p>社内外の業務連携における「依頼する側」と「受ける側」を明確化。</p>	<p>依頼元</p> <p>【GX人材種別】 GXストラテジスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門 【主なスキル】 戦略思考、サプライチェーン知識、ファシリテーション、ITリテラシー</p> <p>依頼先</p> <p>【GX人材種別】 GXコミュニケーター、GXストラテジスト 【所属部門】 — 【主なスキル】 交渉力、業界知識(調達・品質)、サプライチェーン知識</p>
1	説明会準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーへの説明資料の整理(フォーマット統一)</li> <li>社内外ステークホルダーへの説明会の開催</li> <li>バイヤーのGX理解レベル確保</li> </ul>		<p><b>必要な人材・スキル (Required Personnel/Skills)</b></p> <p>GXSS-P (スキル標準) に基づき、各業務に必要な人材類型や専門知識を定義。</p>	<p>依頼元</p> <p>【GX人材種別】 GXプロジェクトマネジャー、GXストラテジスト、GXコミュニケーター 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門、調達部門 【主なスキル】 プロジェクトマネジメント、資料作成(PowerPoint/Excel)、コミュニケーション能力、戦略思考</p> <p>依頼先</p> <p>【GX人材種別】 — 【所属部門】 — 【主なスキル】 —</p>
2	サプライヤー説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加率向上(事前連絡)</li> <li>サプライヤーへの説明会の開催</li> <li>質疑応答の正確な対応</li> </ul>			<p>依頼元</p> <p>【GX人材種別】 GXコミュニケーター、GXストラテジスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、調達部門 【主なスキル】 プレゼンテーション、交渉力、業界知識、戦略思考、ファシリテーション</p> <p>依頼先</p> <p>【GX人材種別】 — 【所属部門】 サステナビリティ担当部門、調達部門 【主なスキル】 GHGプロトコル・法規制の把握、業界知識</p>
3	アンケート配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答率の確保(段階的实施等)</li> <li>設問の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リマインド時期・フォロー責任者の設定</li> </ul>		<p>依頼元</p> <p>【GX人材種別】 GXアナリスト 【所属部門】 環境・サステナビリティ担当部門、経営企画・戦略部門、営業部門 【主なスキル】 データ設計力、分析思考、ITリテラシー(フォーム作成)</p> <p>依頼先</p> <p>【GX人材種別】 GXアナリスト 【所属部門】 営業・サステナビリティ・調達・総務部門 【主なスキル】 データ設計力、分析思考、ITリテラシー</p>

# サプライチェーン連動アクションチャート

サプライチェーン連動アクション									
No.	フェーズ	主な課題・業務	業務・課題解決例	関係部門	人材類型 (GXSS)	必要な人材スキル	関連スキル (GXスキル標準,GXSS-P定義を参照) _依頼元		
0	目的・方針設定・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体目標の明確化</li> <li>KPI設定</li> <li>評価・報告サイクル (半年・1年ごと等)</li> <li>業務: (活用する場合) GHG報告等を行うITシステムの整備</li> </ul>	KPI設定例: <ul style="list-style-type: none"> <li>GX説明会参加率</li> <li>アンケート回答率</li> <li>改善提案件数</li> <li>改善実施率</li> </ul>	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXストラテジスト	戦略思考、サプライチェーン知識、ファシリテーション、ITリテラシー (ITシステム整備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>GXに関する経営資源の配分、KPI設定、外部環境分析などを含む企業や組織の戦略および事業戦略の策定およびフォローアップをリードするスキル</li> <li>GX戦略を実施するにあたり、GX施策の推進策を立案し、実施するスキル</li> </ul>
				依頼先	N/A	-	-	-	
1	説明会準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーによってGXの理解レベルがバラバラ</li> <li>説明資料の整合性確保(フォーマットや算出方法の統一化検討含む)</li> <li>社内外ステークホルダー調整</li> <li>調達部門(説明者)のバイヤーのGXの理解レベル確保</li> </ul>	サプライヤーの理解レベルアップ: <ul style="list-style-type: none"> <li>事前簡易アンケートや業界別GX事例の事前共有</li> </ul>	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXプロジェクトマネジャー GXストラテジスト GXコミュニケーター	プロジェクトマネジメント、資料作成 (PowerPoint、Excel)、コミュニケーション能力 戦略思考、サプライチェーン知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHGプロトコル、TCFD、SSBJなどのGHG排出削減に関する枠組みを理解するスキル</li> <li>マクロおよび事業領域におけるGX関連の中長期的なリスクと機会を理解するスキル (インターナルカーボンプライシングなどのGX関連政策やGHG排出削減に関する枠組みを理解することを含む)</li> <li>GX戦略を実施するにあたり、GX施策の推進策を立案し、実施するスキル</li> <li>GXの市場・技術動向をキャッチアップし、関係部署と連携し、最適なGX施策をリードできるスキル</li> </ul>
				依頼先	N/A	-	-	-	
2	サプライヤー説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加率向上(インセンティブ設計や制度的支援、技術サポートについて事前連絡)</li> <li>課題: サプライヤー経営層のコミットメント確保</li> <li>質疑応答の正確性</li> </ul>	未参加企業への配慮: <ul style="list-style-type: none"> <li>録画配信・資料共有</li> </ul>	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXコミュニケーター GXストラテジスト	プレゼンテーションスキル、交渉力、業界知識 (調達・品質) 戦略思考、サプライチェーン知識、ファシリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scope1~3の削減目標、準拠する環境イニシアチブおよび業界ルールを理解する</li> <li>顧客のGX推進の方向性を理解し、自社サービスの提供を通じた貢献度をCFPや削減貢献量の概念を用いて定量化するスキル</li> <li>GHGプロトコル、TCFD、SSBJなどのGHG排出削減に関する枠組みを理解するスキル</li> <li>GX関連の法規制、業界ごとの排出量傾向、削減目標および施策を把握するスキル</li> </ul>
				依頼先	サステナビリティ担当部門 調達部門	GXコミュニケーター GXストラテジスト	交渉力、業界知識 (調達・品質) サプライチェーン知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHGプロトコル、TCFD、SSBJなどのGHG排出削減に関する枠組みを理解するスキル</li> <li>GX関連の法規制、業界ごとの排出量傾向、削減目標および施策を把握するスキル</li> </ul>	
3	アンケート配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答率の確保 (段階的に実施など)</li> <li>設問の設計</li> </ul>	回答率の確保 (段階的に実施など) <ul style="list-style-type: none"> <li>リマインド時期・フォロー責任者設定</li> </ul>	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門 営業部門	財務 調達 総務	GXアナリスト	データ設計力、分析思考、ITリテラシー (フォーム作成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHGプロトコル、CFPガイドライン、ISO14067などが定めるGHG算定方法論を理解するスキル</li> <li>GHG排出量算定の目的に応じて、適切な算定方法や算定優先度を設定するスキル (第三者保証取得を念頭に置いた制度設計を含む)</li> <li>企業や組織の事業活動に起因するGHG排出の経路を理解するスキル</li> </ul>
				依頼先	営業部門 サステナビリティ担当部門 調達部門 総務部門	-	-	-	

# サプライチェーン連動アクションチャート

サプライチェーン連動アクション									
No.	フェーズ	主な課題・業務	業務・課題解決例		関連部門	人材類型 (GXSS)	必要な人材スキル	関連スキル (GXスキル標準,GXSS-P定義を参照) _依頼元	
4	問合せ窓口運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応遅延の防止</li> <li>FAQ整備</li> </ul>	対応遅延の防止 回答集約のルール化 (誰が、どの頻度で共有するか)	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXコミュニケーター	カスタマーサポートスキル、課題解決力、 文書作成能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>削減シミュレーションを実行し、環境イニシアチブで認められる削減ソリューション (Scope1・2・3) を理解するスキル</li> <li>GX関連の法規制、業界ごとの排出量傾向、削減目標および施策を把握するスキル</li> </ul>
				依頼先	営業部門 サステナビリティ担当部門 調達部門 総務部門	—	—	—	—
5	回収・一次整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答整理</li> <li>未回答対応</li> </ul>		依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門 営業部門	財務 調達 総務	GXアナリスト	データ管理スキル、正確性・注意力、Excel 集計スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHGプロトコル、CFPガイドライン、ISO14067などが定めるGHG算定方法論を理解するスキル</li> <li>GHG排出量算定の目的に応じて、適切な算定方法や算定優先度を設定するスキル</li> </ul>
				依頼先	サステナビリティ担当部門 調達部門 総務部門	GXアナリスト	データ管理スキル、正確性・注意力、Excel 集計スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHGプロトコル、CFPガイドライン、ISO14067などが定めるGHG算定方法論を理解するスキル</li> <li>GHG排出量算定の目的に応じて、適切な算定方法や算定優先度を設定するスキル</li> </ul>	
6	(必要に応じて) 改善提案の実行計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な改善施策を策定</li> </ul>	改善施策： 改善項目の優先順位付け (重要度× 実現可能性) 社内リソース (技術・コンサル支援 など) とのひもづけ	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXストラテジスト GXプロジェクトマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善提案の策定、施策フォローアップ</li> <li>プロジェクト計画策定、コスト分析、交渉力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GXに関する経営資源の配分、KPI設定、外部環境分析などを含む企業や組織の戦略および事業戦略の策定およびフォローアップをリードするスキル</li> <li>各GXプロジェクトの所要時間を見積もり、リソース制約を考慮した最適なスケジュールを策定し、マイルストーンの進捗を管理しながら遅延時には迅速に対応するタイムマネジメントスキル</li> </ul>
				依頼先	サステナビリティ担当部門 調達部門 総務部門	GXストラテジスト GXプロジェクトマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善提案の策定、施策フォローアップ</li> <li>プロジェクト計画策定、コスト分析、交渉力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GXに関する経営資源の配分、KPI設定、外部環境分析などを含む企業や組織の戦略および事業戦略の策定およびフォローアップをリードするスキル</li> <li>各GXプロジェクトの所要時間を見積もり、リソース制約を考慮した最適なスケジュールを策定し、マイルストーンの進捗を管理しながら遅延時には迅速に対応するタイムマネジメントスキル</li> </ul>	
7	フォロー面談 (必要先)	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談対象の優先度設定</li> <li>関係構築</li> <li>業務：サプライヤーが有する課題分析 (例：原材料、製造プロセス等の固有要因に由来するGHG排出)</li> </ul>	優先度設定： 改善提案対象または未回答企業を中心に 関係構築： 相互理解促進←課題理解+支援ニーズの把握	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXコミュニケーター	ヒアリング力、交渉力、課題抽出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scope3の一次データ収集を含むサプライチェーンマネジメントに関するスキル</li> <li>GX関連情報開示の要件に基づき、適切なデータ収集の内容・粒度・頻度・タイミングを理解し、正確な情報開示をするスキル</li> <li>企業や組織の事業活動に起因するGHG排出の経路を理解するスキル</li> <li>ステークホルダーエンゲージメントスキル</li> </ul>
				依頼先	サステナビリティ担当部門 調達部門 総務部門	GXコミュニケーター	ヒアリング力、交渉力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーエンゲージメントスキル</li> </ul>	

# サプライチェーン連動アクションチャート

サプライチェーン連動アクション									
No.	フェーズ	主な課題・業務	業務・課題解決例		関連部門	人材類型 (GXSS)	必要な人材スキル	関連スキル (GXスキル標準,GXSS-P定義を参照)_依頼元	
8	集計・示唆	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ偏りの分析</li> <li>示唆の妥当性</li> </ul>	データ偏りの分析： 業界別・規模別・CO <sub>2</sub> 削減取組度別の クロス分析	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXアナリスト	統計分析スキル、ロジカルシンキング、レポート作成能力	GHG排出量をデータ分析スキルを用いて部署ごとにブレイクダウンし、排出要因とともに、経営層および社内外関係者へ報告するスキル
				依頼先	サステナビリティ担当部門 経理部門 調達部門		GXコミュニケーター	統計分析スキル、ロジカルシンキング	ステークホルダーエンゲージメントスキル
9	改善提案の実行計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>示唆を具体的な改善施策に落とし込む</li> </ul>	改善施策： 進捗モニタリングと社内レビューサイクル設計 次年度方針策定へのインプットとして使用	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXストラテジスト GXプロジェクトマネージャー	プロジェクト計画策定、コスト分析、交渉力	GX関連の戦略立案能力、プロジェクト推進能力 GXプロジェクトのPDCAに基づくマネジメントスキル
				依頼先	サステナビリティ担当部門 経営企画部門		GXストラテジスト GXプロジェクトマネージャー	プロジェクト計画策定、コスト分析、交渉力	GX関連の戦略立案能力、プロジェクト推進能力 GXプロジェクトのPDCAに基づくマネジメントスキル
10	次アクション提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案の実現可能性</li> <li>社内承認取得支援</li> </ul>	次アクション： 改善結果を社内外へフィードバック (例：事例集化、表彰など) 次期フェーズ（再アンケート・再説明会）の計画策定	依頼元	環境/サステナビリティ担当部門 経営企画/戦略部門 事業管理部門	総務 財務 調達	GXストラテジスト GXコミュニケーター	戦略立案力、プレゼンテーションスキル、リスク評価能力、社内調整能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>GX関連情報開示の要件に基づき、適切なデータ収集の内容・粒度・頻度・タイミングを理解し、正確な情報開示をするスキル</li> <li>リスクアセスメント</li> <li>社内外とのコミュニケーション、プレゼンテーション、ネゴシエーションスキル</li> </ul>
				依頼先	サステナビリティ担当部門 経営企画部門		GXストラテジスト GXコミュニケーター	戦略立案力、プレゼンテーションスキル、リスク評価能力、社内調整能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>GX関連情報開示の要件に基づき、適切なデータ収集の内容・粒度・頻度・タイミングを理解し、正確な情報開示をするスキル</li> <li>リスクアセスメント</li> <li>社内外とのコミュニケーション、プレゼンテーション、ネゴシエーションスキル</li> </ul>

# FAQ集

---

質問	回答	関連GXスキル項目	主なトラブル例	対策案
サプライチェーン排出量算定でデータ収集が進まない	データ収集プロセスを標準化し、事業部・サプライヤーとの連携体制を構築する	GHG排出量算定	サプライヤーからのデータ未提出、フォーマット不統一	データ収集ガイドライン作成、定期的な説明会開催
Scope3算定でサプライヤーの協力が得られない	持続可能性基準の導入と契約条件の見直しを行い、教育・支援を実施する	GX調達	サプライヤーの理解不足、コスト負担への抵抗	契約条件にGX基準を明記、教育プログラム提供
GHG削減計画のKPI設定が曖昧	科学的根拠に基づきKPIを設定し、進捗管理体制を整備する	GHG削減計画	KPI未設定、進捗管理が属人的	SBTi等の外部基準活用、KPI管理ツール導入
情報開示の信頼性確保が難しい	第三者保証取得やTCFD等の枠組みを活用し、社内体制を整備する	GX情報開示	データ誤記、開示基準の誤解	開示体制の明確化、第三者保証取得
プロジェクトマネジメントで部門間連携が取れない	プロジェクト推進体制を明確化し、役割分担・リソース調達を徹底する	GXプロジェクトマネジメント	部門間の責任範囲不明、情報共有不足	RACIチャート導入、定期的な進捗会議
サステナブル調達の基準が統一されない	サプライチェーン全体でGX基準を策定し、契約・評価に反映する	GX調達	サプライヤーごとに基準が異なる	共通基準策定、評価システム導入
GHG算定方法論の理解不足	GHGプロトコルやISO14067の研修を実施し、社内外で知識共有	GHG排出量算定	担当者ごとに理解度が異なる	研修・e-learningの実施、FAQ整備
削減対策の実行が進まない	PDCAサイクルを導入し、進捗評価と改善策を定期的実施	削減対策の実行	実行計画が形骸化、進捗不明	定期モニタリング、改善会議の設置
サプライチェーン全体のGHG削減目標が不明確	全社横断の目標設定とKPI管理を行い、関係部署と連携	GHG削減計画	部門ごとに目標が異なる	全社目標の明確化、KPI統一
情報開示のタイミングが遅れる	開示スケジュールを事前に設定し、関係部署と連携	GX情報開示	開示遅延、ステークホルダーからの信頼低下	開示計画の策定、進捗管理
サプライチェーン排出量の可視化が困難	BIツールやダッシュボードを活用し、データの一元管理	GHG排出量分析	データ分散、可視化ツール未導入	BIツール導入、データ統合

質問	回答	関連GXスキル項目	主なトラブル例	対策案
サステナブルファイナンスの活用が進まない	グリーンボンド等の金融商品活用を推進し、社内教育を実施	サステナブルファイナンス	資金調達手法の理解不足	金融機関との連携、教育プログラム
サプライチェーンのGX対応状況が把握できない	サプライヤー評価システムを構築し、定期的なスコアリング	GX調達	評価基準不明、情報収集不足	評価システム導入、定期評価
プロジェクトのROIが不透明	投資対効果を定量化し、シナリオ分析を実施	GXプロジェクトマネジメント	ROI未算定、投資判断が属人的	ROI分析ツール導入、シナリオ分析
サプライチェーンのリスク管理が属人的	AIによるリスクスコアリングを導入し、標準化	GHG排出量分析	担当者依存、リスク評価基準不明	AIツール導入、評価基準策定
サプライチェーンのGX対応で文化的摩擦が生じる	クロスカルチャートレーニングを実施し、コミュニケーション強化	コラボレーション	文化・言語の違いによる摩擦	トレーニング実施、通訳・翻訳支援
サプライチェーンのITシステム障害	冗長化設計とBCP(事業継続計画)を策定	システム管理	システム障害、データ消失	冗長化、BCP策定
サプライチェーンのGX対応でコスト増加が懸念	TCO分析を行い、長期的なコスト削減効果を示す	コスト管理	初期投資負担、コスト増加	TCO分析、長期効果の説明
サプライチェーンのGX対応でプライバシー問題	匿名化技術と暗号化を導入	データ管理	個人情報漏洩リスク	匿名化・暗号化技術導入
サプライチェーンのGX対応で法規制変更に対応できない	法規制モニタリングツールを導入し、定期的なレビュー	政策・規制対応	法規制変更への遅れ	モニタリングツール導入、定期レビュー